

を交えたりして、医療に関しほぼ初学者の私にも本当にわかりやすく教えて頂きました。そして、書類作成の時間では、私が現在業務で担当している診断書だけではなく、退院サマリーなどの現時点で担当していない文書の書き方も教えて頂きました。実際担当していない業務の知識については、普段の業務中に得られるものではないので、とても良い機会を与えて頂いたと思っております。後で見返しても大変わかりやすいテキストもいただいておりますので、今後の業務においても大いに役立てたいです。講習会の際におっしゃっていた、医師事務作業補助者の上級資格ですが、今後作られるのならば是非とも取得し、よりいっそう医師から、そして病院から必要とされる人材になりたいと思っております。

埼玉支部として第1回の学術集会にも関わらず、約270名ものご参加を頂き、盛会のうちに終了できましたのも、関係の皆様方の多大なるご支援の賜物と感謝申し上げ、開催報告とさせていただきます。

第6回兵庫支部学術集会

学術集会会長：市立小野市民病院院長 門脇誠三



会場風景

第6回兵庫支部学術集会は、2012年4月22日(日)に小野市ふれあい交流館エクラで開催されました。当日は約200名の参加がありました。今回は兵庫県内陸地区での学術集会で

あり参加者も少ないことが懸念されましたが、播磨地区を中心に多くの参加者がありました。

特別講演1では今中雄一氏に「病院経営体と人材の成長・変革」というテーマでお話頂き、DPCを活用した地域の医療資源分布の在り方や病院組織文化育成の必要性について講演いただきました。特別講演2では宮本正喜氏に「地域医療情報ネットワーク構築による地域医療連携」のテーマで講演いただきました。情報ネットワークシステムの有用性や問題点につき解説していただきました。北播磨では「北はりま絆ネット」が稼働し始めたばかりであり、時機を得た内容でした。

続いてシンポジウムでは、北播磨自治体病院の各病院長等による、公立病院改革プランに沿った、医療再生のための取り組みについて意見交換がありました。学会特別企画として「寸劇通して楽しく学ぶKYT」と題する当院の医療安全委員会による医療安全の取り組みを紹介し、会場から喝さいを浴びました。ランチンセミナーでは谷澤正明氏により、今回の「平成24年度診療報酬改定の概要と対応」につき有意義な講演がありました。エクラホール入口でのポスター展示では42の演題につき熱心に最後まで討論していただきました。

第3回鹿児島支部学術集会

学術集会会長：鹿児島市医師会病院院長 田畑峯雄

2012年5月12日(土)に、鹿児島県市町村自治会館において、「チームで取り組む安全で質の高い医療」をテーマに、第3回鹿児島支部学術集会を開催し、197人の参加をいただきました。

特別講演では、九州大学大学院医学研究院教授の尾形裕也先生に、「医療・介護提供体制の長期ビジョンをめぐる諸問題」と題してご講演賜りました。

シンポジウムでは、「地域医療連携の現状と課題」をテーマに、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師を

開催報告

支部学術集会

第1回埼玉支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構埼玉病院病院長 関塚永一



会場風景

2012年3月18日(日)、埼玉県県民健康センターにおいて、「頼れる地域医療 安心のきずな」をメインテーマとして、第1回埼玉支部学術集会を開催しました。

最初に、支部長でもある学術集会会長の国立病院機構埼玉病院 関塚永一院長より、基調講演「地域医療連携への思いとICT」が行われ、地域医療連携にはICTが重要な役割を果たしていることなどが述べられました。

特別講演では、埼玉県看護協会会長の向田良子先生より、「看護の動向」と題し、「チーム医療の推進に関する検討会報告書」、「看護師特定認証制度骨子案」や中堅看護師の離職問題など多様な内容を含めた報告がありました。最後に、看護職が誇りと自信を持って「頼れる地域医療 安心のきずな」の担い手として役割を発揮できる社会づくりが大切であると話されたことが印象にのこりました。

シンポジウムでは、「未来の埼玉の医療・看護と介護を知ろう」と題して、6名のシンポジストの方に、様々な視点から現状と将来の展望などをお話いただきました。フロアからは活発な意見交換等があり、参加者の意識の高さが伺えました。

また、ランチンセミナーでは、原子力安全技術センター特別フェローの河内清光先生より、「放射能汚染とその対応」について、お話いただきました。